

更新申請書類記入上の注意点

診療経験一覧表（様式3）

- ・更新申請には、更新申請する前の直近の5年間に25例以上の食道疾患症例の診療経験を有している必要があります。
- ・診療経験には術者や第一助手等の制限はありません。申請者が該当する症例の診療にどのように関わったかを具体的にわかるように記入してください。
- ・1症例の手術、再発時の治療などの時期が異なる治療は2例としてカウントできます。
- ・所属長は、施設の代表者、あるいは科の代表者（大学の場合は学長あるいは教授）どちらでも結構です。
- ・診療経験施設ごとにまとめて記入してください（所属長の署名・捺印は必須）。

業績目録（様式4）

- ・研究業績の対象となるのは食道に関するものに限り（基礎、臨床は問いません）。指定の医学雑誌および学術集会については「業績基準」を参照してください。
- ・論文は、掲載許可がおりていても、更新申請締切り日までに掲載されないものは研究業績として認められません。
- ・研究業績および研修実績には、その業績を証明するものとして、論文別刷または学会発表の内容（学会名、開催年月日、発表者）がわかるプログラム、抄録などのコピー、学会の参加証およびセミナー受講証のコピー（記名されたもの）を添付してください。
- ・今回の更新申請における診療経験、研究業績、研修実績の対象期間は、申請する前の直近の5年間です。申請日からさかのぼって5年以内のものを提出してください。今回有効となる日本食道学会の学術集会は第64～68回、セミナーは平成22～26年度教育セミナーです。